

瀬戸プラネットの取組予定について

1. 瀬戸プラネットの取組予定 (R7)

【瀬戸内海流域一斉清掃イベント】

瀬戸プラネットの一斉清掃イベントとして、一定期間を設定し、関係14府県が府県内の自治体、事業者、市民団体等に呼び掛け、各地域で清掃イベントを開催予定

1. 実施期間 (案)

強化月間：令和7年9月～11月

一斉清掃：令和7年10月25日(土) ※これ以外の期間に開催するものも登録可

2. 実施方法 (案)

- 各府県内の自治体、事業者、市民団体等に参加を呼びかけ、実施期間中に、各地域で清掃イベントを開催するとともに、瀬戸プラネットの横断幕等を活用して、情報発信を行う。
- 特に集中的に清掃を行う日を期間内に設け、一斉清掃を呼びかける。

横断幕のデザインイメージ



瀬戸内海プラごみ
対策ネットワーク
Seto Inland Sea Network
for Plastic Waste Control

きれいで豊かな
瀬戸内海を
めざして。

具体的な実施方針等については、令和7年6月の瀬戸プラネット連絡調整会議で決定予定

2. 瀬戸プラネットのモデル的アクション（R7）

取組内容

①飲料各種プラスチック容器の回収等を通じた海洋ごみ発生抑制啓発モデル事業（兵庫県）

- ・ 球場内でのプラカップの回収を通じて海洋ごみ発生を抑制する啓発の実施
- ・ フードイベント開催時（1,000～2,000人規模）、球場外周・周辺において、対象資源ごみの分別回収と海洋ごみの現状や発生抑制に関する普及啓発活動のモデル事業を実施し、効果を検証する（2～3日間程度）。

【実施府県】

兵庫県、西宮市、阪神甲子園球場、阪神甲子園球場エコパートナー企業（シモジマ・アサヒ飲料・帝人フロンティア・関電他）

②スポーツチーム等と連携したペットボトル3分別回収促進プロジェクト（広島県）

- ・ スタジアムや周辺の公園にて、スポーツチーム等と共同で、ナッジを活用したペットボトルの3分別回収ボックスや新機能リサイクルボックスの設置
- ・ 適切なプラスチックの処理方法等について、スポーツチーム等と連携してスタジアム周辺や移動経路において、交通機関などと連携した啓発の実施
- ・ 回収ボックスや啓発実施場所周辺の散乱状況調査等、効果検証

【実施予定主体】

広島県、（一社）全国清涼飲料連合会、飲料メーカー、県内プロスポーツチーム、交通事業者、エリアマネジメント団体、その他、「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（GSHIP）」の会員等

③「海岸漂着物を用いた作品展示会」を通じ普及啓発を行う発生抑制事業（徳島県）

- ・ 集客力のある県有施設並びに大型商業施設で、県内在住の制作者が作成した海岸漂着物を用いた作品の展示による啓発
- ・ 啓発展示に合わせ、海岸漂着物に関する環境学習教室の実施
- ・ マスコミや県のSNS等での情報発信による普及啓発

【実施予定主体】

徳島県、環境団体、海岸漂着物対策活動推進員

2. 瀬戸プラネットのモデル的アクション (R7)

瀬戸内海プラごみ対策ネットワークのモデル的アクション (兵庫県申請事業)
飲料各種プラスチック容器の回収等を通じた海洋ごみ発生抑制啓発モデル事業



資料 3

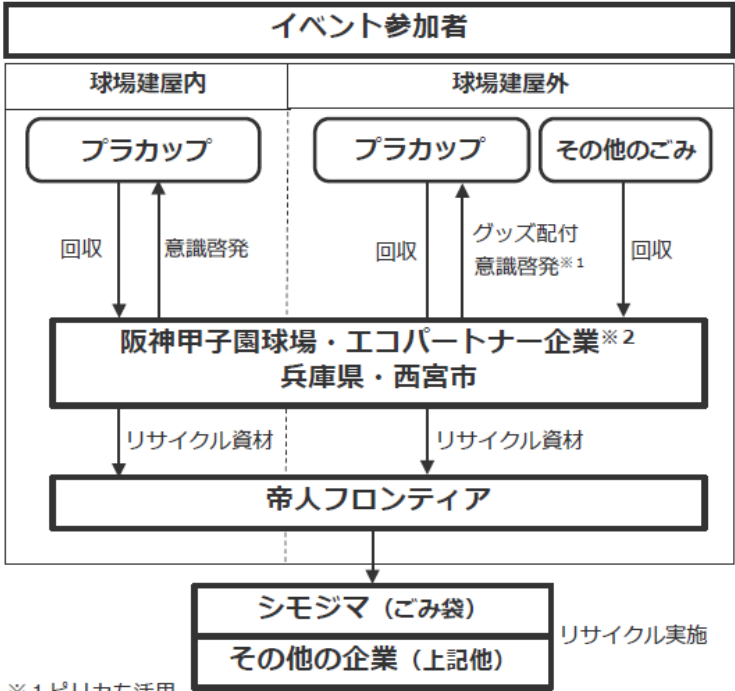
目的

- 対象 大型スポーツ施設及びその周辺への来場者
(今回：阪神甲子園球場におけるイベントの参加者)
- 目的 阪神甲子園球場では、球場施設内で使用したアルコール飲料用プラスチックカップ及びペットボトルを、専用ごみ箱の設置や主催者の啓発活動、退場時の分別回収案内及び適切な清掃により分別回収しており、再生原料として各種製品^(注1)にリサイクルし、再び球場で使用するなどの「目に見える」循環型リサイクルの取組^(注2)を行っている。
(注1) 施設内建材、ごみ袋、ビールカップホルダー、クリアファイルなど
ボトルは水平リサイクルする
(注2) KOSHIEN “eco”Challengeの取組の1つ
球場内でリサイクルの現状や効果などの内容を知ってもらう取組を強化するとともに、球場外周部で行われるイベントを活用^(注3)し、地元の大学生と連携(検討中)して、プラスチック容器の放置・散乱防止を通じて、海洋ごみの現状や発生抑制に関する普及啓発活動を行うことで、高い効果を見込む。
(注3) 実際の試合時では来場人数が多く検証が難しい。イベントであれば、来場者人数が比較的少ない、活用できるスペースが大きいなど、効果の検証が容易である。
※分別回収対象資源ごみ：アルコール飲料用プラスチックカップ(PET、PP)、ペットボトル、ペットボトルキャップ(ボトル外装フィルム、食品容器、ストローなどは対象外)

概要

- 実施予定内容
- 1 地元の大学で海洋プラスチックごみ問題などのセミナー・ワークショップを実施し、モデル事業への参画を促す(検討中)。
 - 2 モデル事業の実施時、球場内でのプラカップの回収を通じて海洋ごみ発生を抑制する啓発を行う(ポスター掲示等を想定)。
 - 3 フードイベント開催時(1,000~2,000人規模)、球場外周・周辺において、対象資源ごみの分別回収と海洋ごみの現状や発生抑制に関する普及啓発活動のモデル事業を実施し、効果を検証する(2~3日間程度)。
【内容】
 - ① 分別用のごみ箱を設置
プラカップ・ペットボトル・ボトルキャップの分別用ごみ箱
 - ② ごみ箱及びその周辺での海洋ごみの現状や発生抑制に関する普及啓発アピール
呼びかけ、バナー、サイネージ、ポスターなど

イメージ図



※1 ピリカも活用
※2 シモジマ・アサヒ飲料・帝人フロンティア・関電 他

2. 瀬戸プラネットのモデル的アクション (R7)

事業内容 (案)



- ① スタジアムや周辺エリアに位置する公園にて、スポーツチームや飲料メーカー等と共同企画した、**消費者が捨てたくないような「仕掛け・デザイン」を施したペットボトルの3分別回収ボックス、新機能リサイクルボックスの設置**
※回収したラベル、キャップについても、何か有効活用できないか…。
- ② **適切なペットボトルの処理方法**や新機能リサイクルボックス等について、スポーツチームや飲料メーカー等と連携して**スタジアム内外で啓発**するとともに、**周辺地域までの移動経路において、交通機関などと連携した啓発の実施**
- ③ 回収ボックスや啓発実施場所周辺の**散乱状況調査、効果検証**等

<イメージ>



出典：コカ・コーラボトラーズジャパンNR(23.7.6)



出典：コカ・コーラボトラーズジャパンNR (23.11.1)



箱が混ざると大変なことになる。気を配り、分別をお願いします。

神奈川県制作
(小田急、江ノ電掲出)

<効果検証 (案)>

- ・リサイクルボックスの組成調査
(取組によるペットボトル3分別率の把握 等)
- ・サカサタ周辺の散乱、ポイ捨てごみ量の調査 (定点観測)
- ・二次元バーコード等を活用した意識調査

2. 瀬戸プラネットのモデル的アクション（R7）

「海岸漂着物を用いた作品展示会」
を通じ普及啓発を行う発生抑制事業

令和7年度徳島県モデル的事業計画案

大型作品の展示で関心を集め、同時に海岸漂着物の問題に関する展示物も合わせて観覧してもらい、海岸漂着物問題に対する普及啓発を図る。

